

2022年9月入学 大学院(修士課程)入学試験問題

(国際学研究科 国際文化学専攻)

(科目名:日本語)

2022年6月18日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の文章を読んで、後の各問に答えて下さい。【1】【2】【3】【4】には問に対する答えとして最もふさわしいものを、一つ選び、その記号を○で囲んで下さい。【5】は記述問題です。

《問題文》

【引用部分は削除しています】

(加藤美浩『まちづくりのススメ』による)

- (注1) その土地の植生：その土地にどのような植物が生えているか
(注2) 折々に：ここでは、機会があるごとに

2022年9月入学 大学院(修士課程)入学試験問題

(国際学研究科 国際文化学専攻)

(科目名:日本語)

2022年6月18日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問1】筆者によると、まちの樹木の大きな役割とは何ですか。

- 1 人々に木が身近な存在であることを意識させる。
- 2 人々に未来都市的なイメージを与える。
- 3 人々を現実の煩わしさから逃れさせる。
- 4 人々を落ち着いた気持ちにさせる。

【問2】下線部「それ」とはどういうことですか。

- 1 その土地に暮らす人々の好みに合わせた樹木を植えること
- 2 その土地の特性と人々の暮らしを考慮し、樹木を植えること
- 3 その土地の歴史的な樹木を大切に、保存すること
- 4 その土地の季節の移ろいを感じさせる樹木を大切にすること

【問3】下線部「もっと欲張って」とあるが、筆者の考えと合うものはどれですか。

- 1 自分の好みだけではなく、まち全体との調和も考えてほしい。
- 2 ガーデニングをする人達同士で、もっと情報交換をしてほしい。
- 3 個々の庭の花や木が、さらに美しく育つようにしてほしい。
- 4 個々の庭よりも、まちの共有の部分のほうに力を入れてほしい。

【問4】筆者の主張と合うのはどれですか。

- 1 人々がまちの木々を愛でることで、子供達が自然に関心を持つようになる。
- 2 人々がまちの木々を愛でることが、よいまちづくりにつながる。
- 3 人々がまちの木々の手入れを怠らなければ、よいまちになる。
- 4 人々が季節による木々の変化に関心を持つことで、愛でる心が生まれる。

【問5】この文章の感想を書いて下さい。字数は自由ですが、以下の部分に裏面は使用せずに書いて下さい。

書き始め→

得点